

① 海外研修

学生海外調査研究

海外において本プログラムに関係する調査研究をおこなうもの。

海外アカデミック・ディスカッション

自身の専門領域について、海外教育機関にてゼミ・研究会・ワークショップ・公開レッスン等に参加。使用言語は自由。指定された科目に登録することで2単位が与えられる。実習期間は1ヶ月以内。

海外インターンシップ

自身の専門領域についての海外教育機関での教授体験(模擬授業)・授業参観を行うもので、いわば海外で行う教育実習である。使用言語は自由。指定された科目に登録することで2単位が与えられる。実習期間は1週間～10日以内。

アカデミック・ディスカッションおよびインターンシップの実習先は、下記のうち、一つを選択する。

1) 本学と大学間協定を結び、先方に日本学関係の専攻がある大学のうち、先方からすでに協力内諾を得ている大学。

英国: ロンドン大学 SOAS 仏国: パリ第7大学
 米国: ヴァッサー大学 台湾: 国立台湾大学
 韓国: 淑明女子大学、同徳女子大学、梨花女子大学

2) 1) 以外で、申請者あるいはその指導教員が個人的な関係を有する大学・研究機関

平成 19 年度「学生海外調査研究」調査地域とテーマ

調査地域	総日数	テーマ
ハンブルク(ドイツ)	15 日間	啓蒙期ハンブルクの音楽と行政に関する史料収集
ソウル(韓国)	8 日間	日韓の広告文の表現特性—テレビの広告文を中心に—
ロンドン、リーズ(イギリス)	10 日間	英国の教育政策における伝統文学教育—シェイクスピアの政治利用
バーゼル(スイス)、アムステルダム(オランダ)	13 日間	Morton Feldman の手稿資料調査および Morton Feldman Music Festival における作品聴取調査
オタワ、モントリオール(カナダ)	10 日間	ガブリエル・ロワ「象徴的風景」の考察～「木」のイマージュを求めて～
バンコク(タイ)	19 日間	タイにおけるタイ語母語話者日本語学習者の聞き返しストラテジーの使用について
上海、北京(中国)	22 日間	樋口一葉と張愛玲の比較研究—近代女性の表象世界—
ソウル(韓国)	2 週間	北朝鮮舞踊表記法に関する韓国所蔵資料の調査
カイロ(エジプト)	3 週間	11～13 世紀東アラブ諸都市における説教師の活動と言説の比較にむけて
ロンドン(イギリス)	5 日間	19 世紀および現代イギリスにおけるラファエル前派主義の評価と帝国主義
ロンドン(イギリス)	2 週間	日英同盟締結に至る日本の国際的環境にかかわる史料調査
ソウル(韓国)	2 週間	韓国無形文化財「太平舞」における伝承過程に関する考察
ロンドン(イギリス)	10 日間	イングランド内戦期の国王に関する諸出版物・図像史料の調査
パリ(フランス)	14 日間	ラ・ロシュフォーコー、『箴言集』研究のための一次資料の閲覧・比較及び収集
ウランバートル(モンゴル)	17 日間	海外日本語学習者の動詞形の習得過程
北京(中国)	20 日間	中国語の自然対話における否定応答表現“没有 meiyou”の使用データ収集
パリ、ドール(フランス)	3 週間	20 世紀前半フランスにおけるアジア音楽の媒介システムについて—ルイラロワに関する一次資料の閲覧及び収集
大連、杭州(中国)	1 週間	外国語環境における日本語の指示詞コソアの取得状況
北京、南京(中国)	2 週間	日本と中国における服飾文様の比較研究
パリ(フランス)	2 週間	フランス現代演劇における「自己/他者」関係の分析—エレーヌ・シクス—作品を中心に